

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



第一鋼業株式会社

2020 年度 環境経営レポート

(対象期間：2019 年12月21日～ 2020 年12月20日)



発行日： 令和2年12月26日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	13
これまでの環境活動の紹介	13

□ごあいさつ

環境を考えることは企業の義務です。有害物質を出さない事、リサイクルの輪を断ち切るような製品を出さない事、省資源の考え方などを基本に製品作りをすることが我々に課せられた使命と考えます。この考え方を基本にして製品作りをすすめるとともに次世代の環境にやさしい処理を探索し、もの造りに専念いたします。

第一鋼業株式会社
代表取締役社長 妻藤 誠

環境経営方針

<環境経営理念>

第一鋼業株式会社は金属剪断刃物・機械部品の製造及び金属熱処理加工を行う工場としての事業活動を通じて、地球温暖化の緩和に向けた取り組みや様々な環境活動に全員参加で自主的・積極的に取り組むと同時に、環境経営の継続的改善を行います。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制とその削減につとめます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 洗浄剤などの化学薬品の適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した生産活動を進めます。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日： 2017年7月16日

代表取締役社長 妻藤 誠

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
第一鋼業株式会社
代表取締役社長 妻藤 誠
- (2) 所在地
本 社 大阪市西成区南津守6-3-22
本社工場 同上
九州工場 福岡県北九州市若松区南二島2丁目25番1号
東京営業所 東京都大田区東六郷3丁目9番9号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 総務部 宇野 眞博 TEL：06-6651-8368

- (4) 事業内容
金属剪断刃物や機械部品の製造 金属熱処理加工

- (5) 事業の規模
売上高 90,737 万円 (2020年度)

	本社	九州工場	東京営業所	合計
従業員	63 名	8 名	3 名	74 名
延べ床面積	4,705 m ²	500 m ²	88 m ²	5,293 m ²

- (6) 事業年度 前年12月21日～12月20日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 第一鋼業株式会社
対象事業所： 本社・工場、九州工場、東京営業所

活動： 金属剪断刃物や機械部品の製造 金属熱処理加工

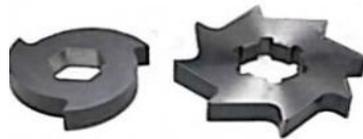
□事業や製品(商品)の紹介



ライナー

スライドウェイ

環境処理用粉碎刃



熱間用シャーナイフ

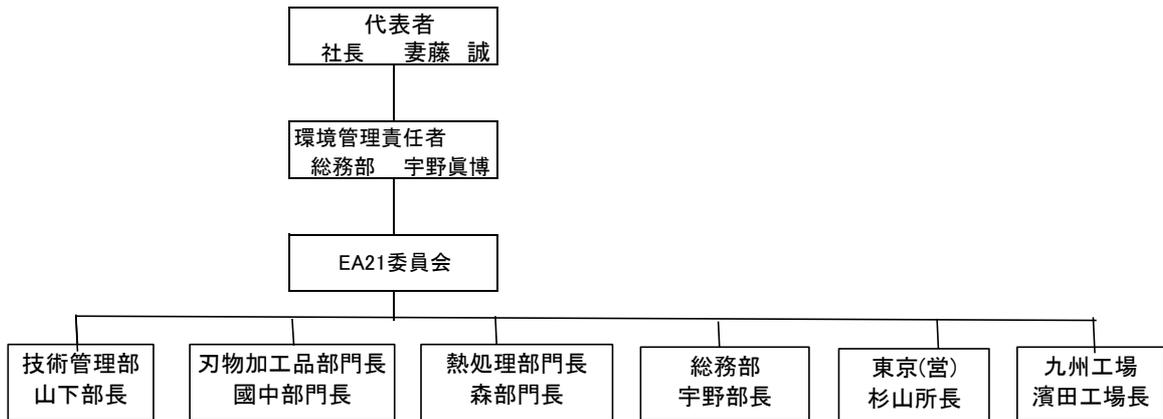


スクラップシャーナイフ



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2020年12月15日



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認 環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2017年	2018年	2019年	2020年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	3,085,312	3,202,490	3,282,064	2,474,004
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	kg	2606.16	4,968	9,180	7,877
産業廃棄物排出量	kg	126,834	80,417	92,573	137,987
総排水量	m ³	6,536	6,201	6,784	6,112

※二酸化炭素排出係数 0.496 kg-CO₂/kWh 関西電力の調整後の係数

※産業廃棄物排出量には、有価物121305.708kgを含んでいます。

□環境経営目標及びその実績

2020年度EA21環境目標 (※SDGs取組関連目標も含む)

- | | | |
|---------------------|-----------|------|
| (1) 電力による二酸化炭素削減 | 2017年度基準比 | 2%削減 |
| (2) 都市ガスによる二酸化炭素削減 | 2017年度基準比 | 2%削減 |
| (3) 自動車燃料による二酸化炭素削減 | 2017年度基準比 | 2%削減 |
| (4) 一般廃棄物の削減(コピー用紙) | 2017年度基準比 | 2%削減 |
| (5) 産業廃棄物の削減 | 2017年度基準比 | 2%削減 |
| (6) 水道水の削減 | 2017年度基準比 | 2%削減 |
| (7) 洗浄剤使用量削減 | 2017年度基準比 | 2%削減 |
- 及び環境に配慮した生産活動(改善、5S他)

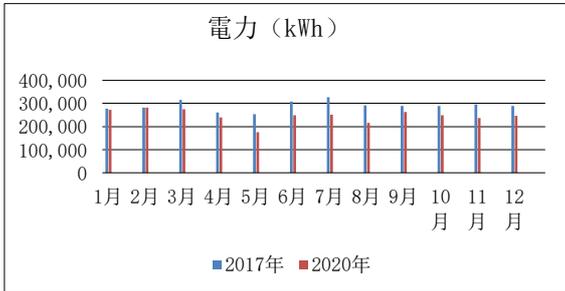
項目	年度	基準値 (基準年)	2020年		評価	2021年 (目標)	2022年 (目標)
			上段: 通期 下段: (目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,734,872	1,700,174	1,465,935	○	1,682,825	1,665,477
	基準年度比	2017年	98%	84%		97%	96%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,281,879	1,256,241	948,456	○	1,243,423	1,230,604
	基準年度比	2017年	98%	74%		97%	96%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	57,843	56,686	49,283	○	56,107	55,529
	基準年度比	2017年	98%	85%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	3,074,593	3,013,101	2,463,674		2,982,355	2,951,610
一般廃棄物の削減(コピー用紙)	kg	969	940	860	○	940	930
	基準年度比	2017年	97%	89%		97%	96%
産業廃棄物の削減	kg	57,934	56,775	142,778	×	56,196	55,617
	基準年度比	2017年	0.98	246%		0.97	0.96
水道水の削減	m ³	6,536	6,405	6,112	○	6,339	6,274
	基準年度比	2017年	98%	94%		97%	96%
洗浄剤使用量削減	kg	140	137	60	○	136	134
	基準年度比	2017年	98%	43%		97%	96%
環境に配慮した生産活動			行動目標(次項による)				

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	数値的には基準年に対し達成されている、エアリーク点検、圧力調整は業者任せでなく社内自主点検を年2回する仕組みの開始。LED照明はソルト工場のみだったが熱処理工場全体化、九州工場も工場全体に導入。熱処理炉の充填率、操業率の計算～分析についてはおおむね監視できるというものになった。太陽光発電の導入による発電も9月より開始した
・不要照明の消灯(5S・環境、安全パトロール時)	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃前後)	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	



取組紹介欄



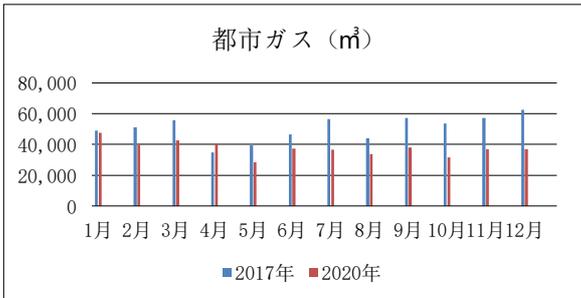
太陽光パワー
コンデンショナー

次年度の取組内容

年間を通しての再生可能エネルギーである太陽光パネルの導入効果にも期待したいがエネルギー使用量については加工高の変動による影響が大きいため生産効率など向上が必要それらを考慮した使用量削減を検討する。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	277,576	281,322	314,513	260,267	253,945	307,527	326,080	290,758	289,336	289,336	296,962	289,938
2020年	272,420	282,669	274,516	239,638	174,756	249,046	250,768	216,349	262,018	249,066	236,650	247,619

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	熱処理ガス炉に関しては原単位する仕組みはあるがここでは使用量なので全体的には受注量の影響から達成であるが売上との原単位で比較すれば単月の達成はされた月もあるものの、炉のチャージ回数に対する充填量については納期かねあいから満足できる結果ではない、炉への充填率、操業率の分析結果は今後監視し対策も検討していきたい
・熱処理炉の充填率、操業率の計算～分析	○	



取組紹介欄



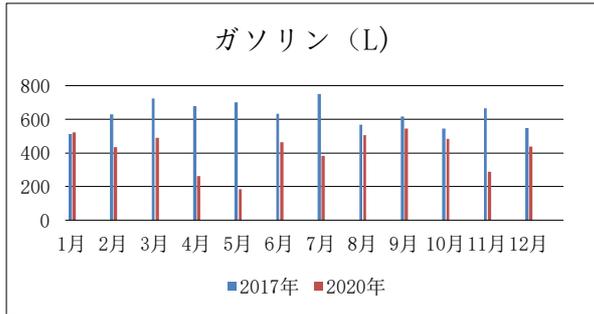
ガスデマンド警報器

次年度の取組内容

ガスエネルギー使用量については炉への充填率も大きく影響する納期厳守だが工程を考慮した使用量削減を検討する。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	49,138	51,174	55,962	34,809	39,397	46,445	56,410	43,983	57,311	53,692	57,087	62,570
2020年	47,621	39,914	42,620	40,140	28,299	37,296	36,558	33,638	38,147	31,650	37,115	36,842

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	熱処理営業2020年度は受注減もあるが業界自体の臨時休業も配送に影響を与えている。本社東京九州で分けて目標～実績を把握することを今回からおこなっている。
・毎月の売上と運搬費の比率を管理していく	○	
・2ヶ月ごとに運転手と交通ルール安全運転教	○	
・ガソリン、軽油の使用量を監視する	○	



取組紹介欄

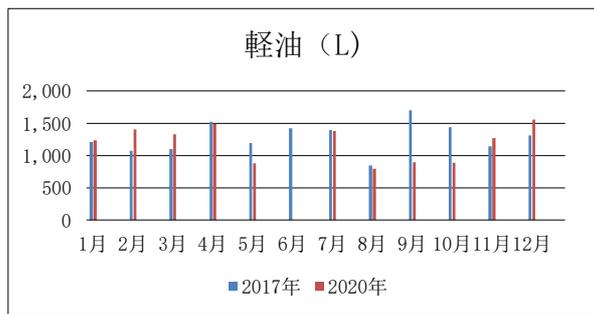


ハイブリッド車も増車

次年度の取組内容

日々の利用における削減意識を高めるとともに環境負荷の少ないと思われる低燃費車、ハイブリッド車やバッテリーフォークを積極的に検討する

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	511	629	724	680	700	631	749	569	615	547	666	548
2020年	522	433	489	263	183	463	382	507	546	483	287	439



取組紹介欄



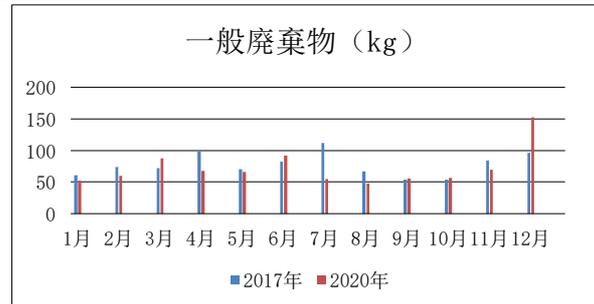
アイドリングストップ運動

次年度の取組内容

日々の利用における削減意識を高めるとともに環境負荷の少ないと思われる低燃費車を積極的に検討する

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	1,212	1,073	1,097	1,521	1,196	1,417	1,394	847	1,703	1,439	1,138	1,307
2020年	1,235	1,406	1,330	1,490	883	0	1,382	796	898	886	1,266	1,553

一般廃棄物の削減(コピー用紙)	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	本社東京九州で分けて目標を立てていく仕組みはできた。コピー使用実態調査に基づき会議資料等のプロジェクター化などはさらに進める必要。
・書類の簡素化(集約印刷、裏紙利用、PDF保)	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・一般ごみの量を把握 ぎゅうぎゅう作戦実施	○	
・コピー個人使用実績のメール配信	○	



取組紹介欄



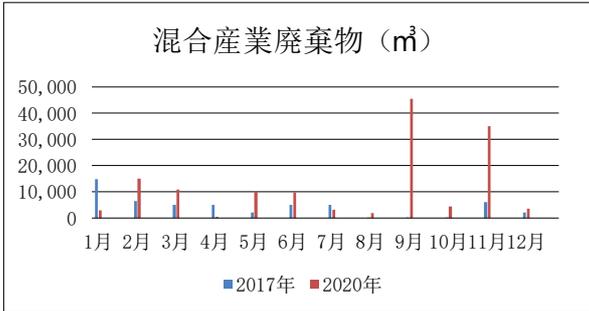
一般廃棄物置場

次年度の取組内容

前年は廃棄量が把握できていない状況であったが、「ごみ袋ギューギュー作戦」の実施により一般廃棄物の量を把握できるようになった。次年度はそのデータをもとに分析対策する。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	61	74	72	99	70	82	112	67	54	54	84	96
2020年	52	60	87	68	66	92	55	48	55	56	69	152

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	設備更新によって産廃量は大きく変動するのは致し方ない。ソルト工場炉の入替にともない耐火レンガ及び設備処分した分も含め排出量が増加した。研磨粉の蓋は雨水を含む排出量を削減しているので横展開を検討する。
・材料の歩留まり向上(材料会議)	△	
・加工ミスによるロスの低減確認(ISO会議)	△	
・セパレーターのメンテナンスで排水量、廃棄	△	
・コンデンサ処分保管	△	



取組紹介欄

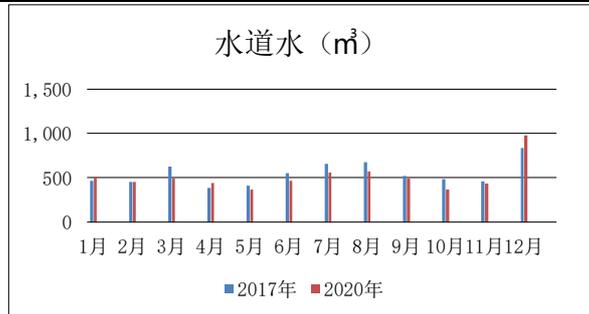


次年度の取組内容

産業廃棄物の処理にかかるコストを低減するため分別方法を検討していく。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	14,782	6,524	5,133	5,012	2,150	5,072	5,052	2	332	332	6,003	2,052
2020年	2,852	15,040	10,773	352	10,322	9,855	3,110	1,942	45,545	4,356	35,120	3,512

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	特に増減がないこともあるが効果的な削減策は検討中、生産量減のわりには定期的な水槽の入れ替えも増量につながっているが年末の水槽入れ替えなど増大した数値がでてしまった。その他の月は、全体的に現状維持の範囲。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・定期的な漏水点検	○	



取組紹介欄



次年度の取組内容

機器不良の漏水で使用量が増えているので、設備点検方法を検討して実施する。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	466	452	624	387	412	553	658	677	523	487	459	839
2020年	501	453	490	440	366	466	556	569	493	370	434	977

洗浄剤使用量削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	熱処理部における薬品の取り扱い教育はおこなっているが、今後も継続予定、熱処理品証は薬品の使用量の管理を記録している廃液は下水に流さないことも徹底できている現状はPRTR法に関連する薬品の購入利用はない
・製造課使用薬品の取り扱い教育の実施	○	
0	○	

取組紹介欄

使用薬品取扱い教育講習



次年度の取組内容

PRTR物質を含む化学薬品の取扱いはなった脱硫剤(少量)のみになるが新規の取扱いになる薬品類に関しては安全衛生上の観点からも取扱い教育を継続していく

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価
・全社5S活動の推進、クリーン作戦の継続実施	○	改善実施活動では前年50件→115件→133件と大幅増加 過去最高件数更新◎ また改善提案の中から環境方針の達成に効果的なものに関しては「改善いいね賞」を選考し全社環境意識の活性化をおこなう取り組みを試行した。 SDGs関連の講習は数種類、定期的に行った
・関西電力太陽光パネルの設置	○	
・改善実施活動(改善事務局)	133件	
・SDGS教育(SDGs、男女共同、人権、健康メン)	○	
・環境新聞の発行・掲示(不定期)	○	

取組紹介欄

・SDGs講習



・SDGs 健康と福祉を講習



次年度の取組内容

改善実施活動は件数のみではなく創意工夫のある内容向上を意識しながら提出1件/1人当りで継続して全員参加をめざす

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、木くず、消耗品屑等）
騒音規制法	空調機・空圧機
振動規制法	走行クレーン
大気汚染防止法	排出基準の遵守、排出濃度の測定・記録の保管
省エネ法	第2種特定工場の届出、管理者の選任
温暖化対策推進法	対策計画、実績報告
フロン排出抑制法	簡易点検の実施、定期点検の実施、点検記録の保存
PRTR法	指定化学物質の取扱量把握、SDSの受け取り
労働安全衛生法	SDS義務640物質の把握
No x・PM法	適合する自動車の使用
消防法（危険物）	危険物の管理
PCB処理法	対象品の届出保管
毒物及び劇物取締法	盗難/漏えい防止

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、省エネ法に関連した管理基準の作成に対応します。

なお、その他については違反、訴訟等も過去3年間ありません。

□緊急事態対応訓練 本社工場

緊急事態の想定： 火災消火と津波を想定した避難訓練	
■実施日： 令和2年7月16日 ■参加者： 本社従業員全員	■実施場所： 会社内 ■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 前回消防署との合同訓練であったが今年例年通り、消防署員の立ち合い指導の下に実施、消防署員と連携を求められる行動も訓練したが特に問題なかった。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 本社	
	

□緊急事態対応訓練 東京営業所

緊急事態の想定： 火災消火と災害を想定した避難訓練	
■実施日： 令和2年2月24日 ■参加者： 東京営業所従業員全員	■実施場所： 東京営業所 ■実施内容： ・消火訓練、避難訓練
■評価： 初めての試みだが、人員が少ないこともあり避難集合、安否確認は早かったが、緊迫感は出しにくかった。	手順書の変更の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

緊急事態対応訓練 九州工場

緊急事態の想定： 火災消火と津波を想定した避難訓練

■実施日： 令和2年12月16日

■参加者： 九州工場従業員全員

■実施場所： 九州工場～避難地若松競艇場

■実施内容：

・消火訓練、避難訓練

■評価：

避難集合、安否確認に時間がかかったが今後回数を重ねて迅速にしておく

手順書の変更の必要性 あり なし

■実施状況の様子



□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2020年12月24日

<p>【前回の指示への取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・油煙を減少させる消炎装置の設置計画の策定についてはコスト面、見積もり、仕様決定と長引いたが2021年着工が決定した ・炉の断熱工事、建屋の断熱工事などはコスト面で未実施 ・二酸化炭素の削減目標については省エネ法への届け出にもとづく管理標準、点検方法見直しと省エネ改善実施で年初のEA21委員会で目標数値を2017年度基準通りとしている。九州、東京については単体での基準経営計画目標設定と進捗管理を開始した。 	
<p>◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高濃度PCB廃棄物の処理期限が、2021年3月31日と迫ってきている。処分が今後の課題 	<p>＜見直し・指示＞</p> <p>◇環境方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部年年度経営計画に環境関連項目を付記し策定内容を着実に実施してください。方針の見直しはなし
<p>◇環境目標・活動計画の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力による二酸化炭素2%削減や、都市ガスによる二酸化炭素2%削減等の目標は、基準年からすべて達成されているが世界規模の感染症から生産量にも大きく影響を受けている。改善実施提案については過去最高件数を更新 	<p>◇環境経営目標・環境経営計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素の削減目標は、生産量の増減や設備の更新等により、達成状況が左右されるが、2021年度は、省エネ管理標準、点検方法見直しと省エネ改善のさらなる実施で二酸化炭素削減目標は、前年と同じ基準年比2%削減を目標とします。また新たな保管低濃度PCBの届け出と処分を検討してください
<p>◇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利害関係者からの苦情・要請等 過去に油煙に対して、近隣から火災と間違えて消防署に連絡されたことがある。 ・環境上の問題点等 	<p>◇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか着手できないが2021年度中に、油煙を減少させる装置の具体的な設置計画を策定してください。 ・LED照明の範囲拡大、炉の断熱工事、建屋の断熱工事など計画検討してください。・東京営業所などもLED化してください。
<p>【今回の評価結果と今後の経営視点】</p> <p>今回は、あらたな課題として低濃度PCBコンデンサの保管があり今後の処分が必要、廃棄物量は5S活動の推進で増加したが、その他は2017年度比では数値上は達成されている結果でしたが、今回の結果をレビューして、2021年度計画で改善していきます。</p>	

□これまでの環境活動の紹介

・本社太陽光パネルの設置



中央倉庫



機械加工工場



・九州工場LED化



□編集後記

EA21 審査の様子(本社)



(東京営業所)



(九州工場)

